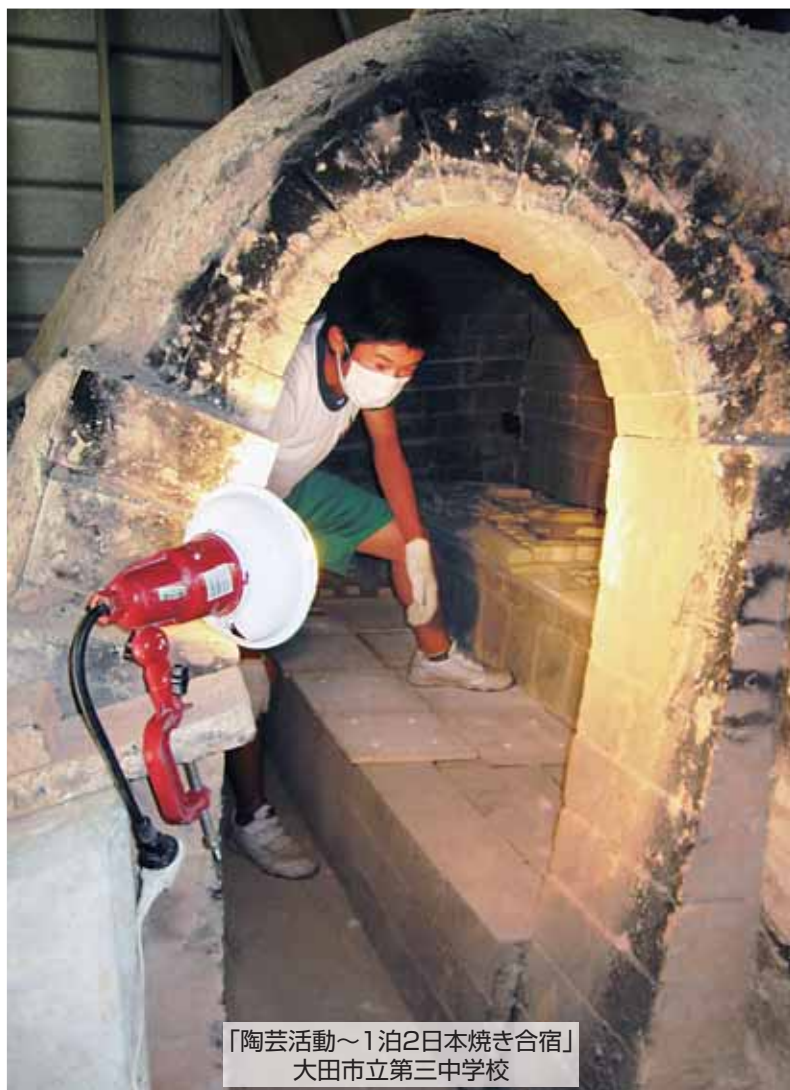


しまねの社会教育だより

vol.13



「陶芸活動～1泊2日本焼き合宿」
大田市立第三中学校



「『子鷺踊り』本番前」
津和野町立津和野小学校



「田起こしをかねて『どろんこ運動会』」
隠岐の島町立有木小学校



「地域医療貢献を志す大学生へのインタビュー」
奥出雲町立亀嵩小学校

特集 「ふるさと教育」の“今”

2013.
3月号

photo 「ふるさと教育」の取組の様子(上) 東部・西部社会教育研修センターの講座の様子(下)



コーディネーター力アップ講座(西部)
講師：志々田まなみ 広島経済大学准教授



人と人をつなげるコミュニケーション講座(東部)
講師：清國祐二 香川大学教授

発行:島根県立東部・西部社会教育研修センター

「ふるさと教育」の“今”

平成17年度より取り組んできた「ふるさと教育」は現在、第3期の取組に入って2年目。今期は特に、①学校教育活動全体で進める、②「子どもの教育は地域の大人の役割」という意識を醸成する、という2つの方向性のもと、「ふるさと教育」の「量的充実」と「質的充実」を図る取組が推進されています。

「ふるさと教育」の理念と取組の重点

「ふるさと教育」とは、自然・歴史・文化等の郷土学習によってふるさとに対する認識を高めるだけでなく、地域の人々とのふれあいや地域に出かけて行う様々な体験を通じて、ふるさとへの愛着と誇りを養うとともに、心豊かな人間性・社会性をもつ子どもを育もうとするものです。

「しまね教育ビジョン21」

- ★ふるさと島根への愛着を深め、ふるさに誇りをもつ子ども
- ★心豊かでたくましく、明日の島根を担う子ども

学ぶ楽しさ

子どもたちが、学ぶ喜びや充実感を味わい、学習意欲や追求意欲を高めながら、学力を一層高めていきます。

豊かな人間性・社会性

子どもたちが、学びを通して、自らを律しつつ他人と協調し、他人を思いやる心、人権を尊重する心、美しいもの、気高いものに感動する心など、豊かな人間性や社会性を培います。

ふるさとへの愛着と誇り

子どもたちが、ふるさとを愛し、地域の一員として地域に貢献したり、地域を大切にしたりする心を培います。

★学校・地域の連携協力による「ふるさと教育」推進★

学 校

学校教育活動全体で進める「ふるさと教育」

- ①量的充実
 - ◆地域の「ひと・もの・こと」を学校教育活動全体において活用する視点をもち、全ての教育活動で「ふるさと教育」の展開を図る。
- ②質的充実
 - ◆教育活動全体で「ふるさと教育」を展開し、内容や方法が充実した活動とする。
 - ◆発達の段階に応じて地域課題に正対し、ふるさとの今を知ること、ふるさとの将来に自分が果たすべき役割に対する使命感を醸成する。

地 域

学校への積極的関与

- ◆地域の「ひと・もの・こと」を提供する。
- ◆地域に暮らす人の思いを子どもに伝える。

学校外での子どもとの関わり

- ◆「ふるさと教育」を発展・深化させる事業を公民館等で実施する。

効果

子ども

豊かな心・感性を育む
地域への誇りと愛着
学習意欲の向上

地 域

地域の大人の積極的関与
地域の教育力の向上
地域の活性化

学 校

特色ある学校づくり
地域に開かれた学校
積極的な地域への関与

地域課題解決に向けた「ふるさと教育」の事例

浜田市立弥栄中学校と 浜田市立安城公民館の取組

浜田市立弥栄中学校では、浜田市立安城公民館と連携して、第1学年の総合的な学習の時間に地域課題に即したふるさと教育を展開しています。

本実践からは、様々な学習方法を活用して意欲的に探究学習に取り組み、学んだことを生かそうとする生徒の様子がうかがわれます。

テーマ「弥栄の未来を考えよう」

弥栄の現状を知るとともに課題に取り組みながら
弥栄の特色を生かして生きる方法を考える

生徒の活動

1

地域の現状を知る (つかむ・さぐる)

…ウェビング、
ブレインストーミング、
KJ法、公民館主事による講話

公民館の出産

1

公民館主事が地域の生きた情報
を伝えることで課題発見の
お手伝い



生徒の活動

2

課題の解決策を探る (さぐる・みかく)

…計画、ミーティング、
地域調査(「食」「自然」「暮らし」の
3テーマ)、ふり返り

公民館の出産

2

地域の方々との意見交換、施設見学、公民館主催事業への参加など、地域の「ひと・もの・こと」をコーディネート

生徒の活動

3

地域の未来に提案を行う (みかく・ひらく)

…ミーティング、レポート作成、
プレゼンテーション

公民館の出産

3

地域で活動している方々の熱い
思いのスパイス!
「君たちと弥栄を何とかしたい」
「一緒にやろう!」と想っている
地域の方々をセッティング



「弥栄の未来を考えよう」

中学生の提案

1人で できること (個人)	10人で できること (クラス単位)	100人で できること (学校単位)	1000人で できること (弥栄町みんなで)
●自然 弥栄の自然 を再発見	山や川のゴミ拾い を定期的に行う	みんなで農薬・合成洗剤 を使わない	山を活かす方法 を考える
●食 自分で野菜 を育てる	地元の食材を使う	みんなが集まって 料理をする	弥栄の郷土料理の日 をつくる
●暮らし あいさつをする	集まりを大切に する	祭りに参加する	弥栄の人みんな で家族になる

学習発表会

「弥栄の未来を考えよう」

- 海士町の「島の幸福論」を参考にして、弥栄の未来のために「1人でできること」「10人でできること」「100人でできること」「1000人でできること」をグループごとに提案

『弥栄のために活動している人の
仲間入りをしたい!』

学校の声

- 地域の方々が我が子、我が孫に話そうように接し、知識・知恵・技を教えてくださいましたので、生徒たちは安心して学習に取り組むことができました。
- 地域における「知のアーカイブス(保存しておく場所)」としての公民館の重要性を感じました。

地域の声

- 中学生の活動が地区まちづくり委員会で話題になり、大人たちがあらためて「地域をどうすればいいか」を考え直すきっかけになりました。
- 中学生が地域での空き缶ひろい活動に参加したり、祭りの手伝いをしたりするようになり、学習発表会での提案の実現に向けてがんばり始めました。

4

「ふるさと教育」を推進することで期待されること

「ふるさと教育」で地域課題に取り組むことで…

大人

地域が抱える課題を子どもとともに考えることで、新たな気づきや方策が生まれることが期待できます。

子ども

地域の現状や課題を知ることで、ふるさとの将来に自分が果たすべき役割に気づきます。

地域

子どもたちの学習の成果が地域に波及することで、大人たちの地域活動への参加意欲が高まることが期待できます。

「フォトしまね」(No.189)で
松江市立大野小学校の地域
課題(地域医療)に即した「ふ
るさと教育」の取組が紹介さ
れました。



PET/CTを興味深そうに見学する大野小学校の児童＝松江市立大野小学校



医師に見学する児童＝松江市立大野小学校

「ふるさと教育」で地域医療を
テーマにした授業がスタート
島根で働く医師を「育てます」

「ふるさと教育」に地域の大人が関わることで…

大人

多くの大人がボランティアとして関わることで、学校(子ども)を中心とした大人同士のつながりができます。

子ども

地域の大人の思いを直接聞き、感じることで学びが深まります。また、「地域の子どもは地域で育てる」という共通の理念をもった多くの大人の存在は、子どもにとってのロールモデル(規範となる人物、お手本)になります。

地域

大人同士の横軸、子どもから大人への縦軸の絆が強まることで、未来に向けた地域力の醸成に結びつきます。



県立社会教育研修センター講座での 学びが“地域”で生かされています!

県立東部・西部社会教育研修センターでは、社会教育実践者の資質・能力や士気の向上を図る研修・講座を開催しています。

どの研修・講座も受講者満足度は非常に高く※、受講後のアンケートでは「今後に生かしたい」という声をたくさんいただいています。今回は「それらが実際にどう生かされているのか」を追ってみました。

※ H24年度開催講座の満足度平均99%（「参考になった」、「どちらかというと参考になった」を合わせた数の全体に対する割合）

学習プログラム企画・立案力アップ講座

主催：東部社会教育研修センター

本講座では公民館等を活用した人づくり・地域づくりを推進するための模擬的な事業計画づくりを2日間かけて行いました。

ねらいにこだわり、対象を絞った適切な学習方法を選択して、地域の特色や課題に合ったプログラム作成の手順や手法を学びました。



“みんなが笑顔になりました”

出雲市高浜コミュニティセンター マネジャー 古山朋子

当センターからH22年度に1名、H23年度にもう1名がプログラム立案実践講座に参加しました。演習では、グループの連帯感の重要性や目標設定の大切さなどを学びました。そして学んだ手法を当センターの事業計画に生かしたいと考えました。

まず、センター職員で事業運営上の課題を出し合い、焦点化をしました。そして課題解決のための事業の在り方や評価のモノサシ、そしてセンターとしての実践目標

について協議しました。

続いて、専門部の会で事業計画立案のワークショップを行ってみました。これまでも計画を立てる会議はありましたが、なかなか意見が出ず、結局、センター職員が案を作ってしまうことがありました。

ところが、今回は参加型学習の手法を活用したことで、みなさんからたくさん意見が出てきました。おかげで、良い計画ができましたし、私自身、会の進行をしていてとても楽しかったです。

実際には、新しい視点で捉え直すことで新鮮味が出た事業、単発ではなくシリーズ講座になった事業、新たに小学校と連携した事業など、専門部員みんなのアイデアと熱意のいっぱい詰まった事業を展開しつつあります。まだまだ工夫の必要なところはあると思いますが、住民の方々からは「地域が元気になった」「この地域がさらに好きになった」という声をいただき、とてもうれしく思いました。

センター長の「地域のニーズを把握し、明確な目標を設定した事業を展開することで、地域を活性化させたい」という思いを実現するために、これからもさらなる研修が必要だと思っています。



地域課題解決のためのファシリテート力アップ講座

邑南町出前講座 主催：西部社会教育研修センター

本講座では、小グループで地域課題解決に効果的なワークショップの構成となる「プロセスデザイン」とワークの細案作りとなる「プログラムデザイン」をしました。

その後、作ったプログラムを各自がファシリテートし、相互評価しました。



“学んだことは即実践に活かす”

邑南町 井原公民館 主事 田村成生

受講後、邑南町の公民館主事が自主的に、「邑南町の公民館が日本一を目指すためのワークショップ」をデザインし、公民館長・主事会で1回目のワークを行いました。

2回目のワークは各公民館ごとに実施。それぞれの公民館がテーマを決め、住民を巻き込んで公民館主事がワークをデザインし、ファシリテートしました。

- ・中野公民館 テーマ「井戸端会議」・「元気になるコミュニケーション」
- ・井原公民館 テーマ「井原地区の夢を語ろう」
- ・阿須那公民館 テーマ「うれしい言葉 いやな言葉」(人権学習会)
- ・市木公民館 テーマ「広げてください 市木のふるまい」

今回の「プロセスデザイン」、「プログラムデザイン」の資料が大変参考になりました。また、講座で学んだファシリテーションの留意点は毎回確認しています。

状況に応じてプログラムを流すのは、ある程度経験が必要と感じましたので、これからも実践を積みながら、学び続けたいと思います。



説明力を高めるプレゼンテーション講座

主催：東部社会教育研修センター

本講座ではPREP法などのプレゼンテーションの基本的な技術を、演習を通して体験的に学んでもらいました。

演習では「体験を話す練習」と「ミニ・プレゼンテーション」を行い、合計4回のプレゼンテーションと相互評価をしてもらいました。



“自信を持って話せるようになりました”

飯南町役場 保健師 山戸由紀

職業柄、人前で話すことは多いですが、大人数の前でも緊張しないヒントがもらえればと思い、講座に申し込みました。

まず「自分が感動したことを一番上手に伝えられるのは自分しかない」と言われたことで肩の力が抜けました。また、演習でみなさん等身大で飾らない話をされていて、そうすることがとても興味深く、人の心をつかむものだわかりました。

今では自分の持っているもの以上は話せないと思うことで、気を楽しんで話せるようになりました。ゆっくり話すことで、自分も落ち着き、聞き手を見る余裕も出てきました。

今後は「魅力的に」という面を伸ばしたいです。もっと聞きたいという気持ちになってもらえるような話し方ができるように、まず自分自身の教養を磨きたいと思います。





平成25年度 社会教育研修

東部社会教育研修センター（出雲市小境町）

社会教育・地域活動に携わる上で必要な基礎的知識や技術、島根県社会教育の現状などを学びます。

No.	講座名	内 容	参加対象					開催日	会 場
			市町村担当者	公民館職員	他社会教育関係者	他行政関係者	学校関係者		
1	基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座	社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育の現状などについて学び、地域における社会教育の今後の方向性を考える。公民館等の社会教育施設の役割や運営のあり方について学び、事業・講座づくりのポイントを考える。	◎	◎	○	○	○	6月 5日(水)	県立青少年の家サン・レイク
2	地域課題解決のためのワークショップ講座	住民とともに地域課題を解決するために有効な参加型学習の基礎的な知識を学ぶ。またアイスブレイクや基本的なワークショップの手法を体験的に学ぶ。	◎	◎	○	○	○	6月 5日(水)	県立青少年の家サン・レイク
3	人と人をつなげるコミュニケーション講座	コミュニケーションの大切さについて考え、演習をとおして体験的に学ぶ。	◎	◎	◎	○	◎	10月24日(木)	県東部
4	説明力を高めるプレゼンテーション講座	プレゼンテーションの基礎的な知識を学び、聞き手に分かりやすい伝え方を身につける。	◎	◎	○	○	○	6月19日(水)	県立青少年の家サン・レイク

社会教育の実践活動に対応した専門的知識や指導技術を学びます。

No.	講座名	内 容	参加対象					開催日	会 場
			市町村担当者	公民館職員	他社会教育関係者	他行政関係者	学校関係者		
1	コーディネータカアップ講座	コーディネーターとしての役割である“つなぐ”視点や手法を学び、学社連携・融合を推進するための実践的なコーディネータカを高める。	◎	◎	◎	○	◎	7月上旬	県東部
2	地域課題解決のためのファシリテータカアップ講座	地域課題を解決するために有効な参加型学習を活用する方法を学び、演習をとおして実践的なファシリテータカを高める。	◎	◎	○	○	○	9月中旬 12月中旬	隠岐の島町 安来市
3	学習プログラム企画・立案カアップ講座	企画立案の演習をとおして、社会教育担当者にとって重要な資質であるプログラム・デザイン力を高める。	◎	◎	○	○	○	6月下旬 11月上旬	奥出雲町 西ノ島町

「結集!しまねの子育て協働プロジェクト」の推進に向けて、その実践者としての役割について理解を深め、必要な知識や技術を学びます。

No.	講座名	内 容	参加対象					開催日	会 場
			市町村担当者	公民館職員	他社会教育関係者	他行政関係者	学校関係者		
1	コーディネーター研修<1回目>	コーディネーターとしての視点や手法を学び、学社連携・融合を推進するための実践的なコーディネータカを高める。(専門研修「コーディネータカアップ講座」と兼ねて実施)	◎	◎	◎	○	◎	7月上旬	県東部
2	コーディネーター研修<2回目>	コーディネーターに必要な資質・能力について考え、演習を通して体験的に学ぶ。(基礎研修「人と人をつなげるコミュニケーション講座」と兼ねて実施)	◎	◎	◎	○	◎	10月24日(木)	県東部
3	親学ファシリテーターフォローアップ研修	親学ファシリテーター養成講座修了者を対象に、事例研究や派遣に関する留意事項等についての研修を行い、親学ファシリテーターとしての意識や実践力を高める。	親学ファシリテーター養成講座修了者					松江、出雲、隠岐の各教育事務所管内の会場で実施予定(開催日未定)	

◎おおいに関連性がある ○関連性がある

市町村支援事業

市町村が社会教育に関する研修会を実施される場合、より充実した研修となるよう支援を行います。

- 市町村の実態に応じた研修の支援(社会教育指導者・担当者向け)
- 市町村主催の社会教育に関する研修について、相談や助言を行います。
 - 市町村主催の研修に出向き、ファシリテート等の支援を行います。

社会教育主事講習[B]

文部科学省より委託を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習会を実施します。

- 「生涯学習概論」(2単位) 「社会教育計画」(2単位)
「社会教育特講」(3単位) 「社会教育演習」(2単位)

を1月下旬から2月下旬までの概ね1か月間で実施予定。年度を越えての分割受講もできます。

センター 主催講座 実施予定



西部社会教育研修センター（浜田市野原町）

社会教育・地域活動に携わる上で必要な基礎的知識や技術、島根県の社会教育の現状などを学びます。

No.	講座名	内 容	参加対象					開催日	会場
			市町村担当者	公民館職員	社会教育関係者	他行政関係者	学校関係者		
1	基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座	社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育の現状などについて学び、地域における社会教育の今後の方向性を考える。公民館等の社会教育施設の役割や運営のあり方について学び、事業・講座づくりのポイントを考える。	◎	◎	○	○	○	4月21日(日) 4月23日(火) 4月24日(水) 5月 8日(水) 6月19日(水) 7月 1日(月)	いわみーる 美郷町山形開発センター 邑南町元気館 川本町悠悠ふるさと会館 津和野町 江津市
2	地域課題解決のためのワークショップ講座	住民とともに地域課題を解決するために有効な参加型学習の基礎的な知識を学ぶ。またアイスブレイクや基本的なワークショップの手法を体験的に学ぶ。	◎	◎	○	○	○	5月22日(水) 6月27日(木) 8月29日(木) 11月27日(水)	邑南町元気館 吉賀町 益田市市民学習センター いわみーる
3	人と人をつなげるコミュニケーション講座	コミュニケーションの大切さについて考え、演習をとおして体験的に学ぶ。	◎	◎	◎	○	◎	10月25日(金)	いわみーる
4	説明力を高めるプレゼンテーション講座	プレゼンテーションの基本的な知識を学び、聞き手に分かりやすい伝え方を身につける。	◎	◎	○	○	○	7月31日(水) 9月12日(木)	川本町悠悠ふるさと会館 大田市

社会教育の実践活動に対応した専門的知識や指導技術を学びます。

No.	講座名	内 容	参加対象					開催日	会場
			市町村担当者	公民館職員	社会教育関係者	他行政関係者	学校関係者		
1	コーディネータカアップ講座	コーディネーターとしての役割である“つなぐ”視点や手法を学び、学社連携・融合を推進するための実践的なコーディネータカを高める。	◎	◎	◎	○	◎	7月上旬	県西部
2	地域課題解決のためのファシリテータカアップ講座	地域課題を解決するために有効な参加型学習を活用する方法を学び、演習をとおして実践的なファシリテータカを高める。	◎	◎	○	○	○	7月24日(水)～25日(木) 10月1日(火)～2日(水)	大田市 川本町悠悠ふるさと会館
3	学習プログラム企画・立案カアップ講座	企画立案の演習をとおして、社会教育担当者にとって重要な資質であるプログラム・デザイン力を高める。	◎	◎	○	○	○	5月28日(火)～29日(水) 6月5日(水)～6日(木) 6月12日(水)～13日(木) 6月18日(火)～7月18日(木) 8月7日(水)～8日(木) 10月9日(水)～10日(木)	大田市 いわみーる 邑南町元気館 益田市市民学習センター 江津市 津和野町

「結集!しまねの子育て協働プロジェクト」の推進に向けて、その実践者としての役割について理解を深め、必要な知識や技術を学びます。

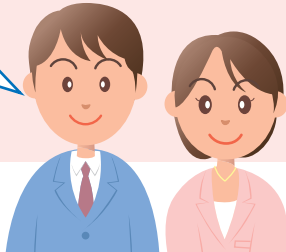
No.	講座名	内 容	参加対象					開催日	会場
			市町村担当者	公民館職員	社会教育関係者	他行政関係者	学校関係者		
1	コーディネーター研修<1回目>	コーディネーターとしての視点や手法を学び、学社連携・融合を推進するための実践的なコーディネータカを高める。(専門研修「コーディネータカアップ講座」と兼ねて実施)	◎	◎	◎	○	◎	7月上旬	県西部
2	コーディネーター研修<2回目>	コーディネーターに必要な資質・能力について考え、演習を通して体験的に学ぶ。(基礎研修「人と人をつなげるコミュニケーション講座」と兼ねて実施)	◎	◎	◎	○	◎	10月25日(金)	県西部
3	親学ファシリテーターフォローアップ研修	親学ファシリテーター養成講座修了者を対象に、事例研究や派遣に関する留意事項等についての研修を行い、親学ファシリテーターとしての意識や実践力を高める。	親学ファシリテーター養成講座修了者					浜田、益田の各教育事務所管内の会場で実施予定(開催日未定)	

◎おおいに関連性がある ○関連性がある

■ 平成24年度の実績

- ・ 公民館職員研修の企画内容に対する助言《浜田市》
 - ・ 公民館事業の診断と評価方法に関する助言《浜田市》
 - ・ 公民館等職員研修の演習ファシリテート《出雲市、奥出雲町、浜田市、邑南町等》
 - ・ 青少年育成住民大会の企画内容に対する助言《松江市》
 - ・ 生涯学習情報提供の一元化に関する情報提供《出雲市》
 - ・ 市民大学講座の演習ファシリテート《美郷町》
- (このほかにも様々なご相談や各種研修会の演習ファシリテートなどの支援をうけたまわりました。)

● 講座の日程や会場が変更になる場合があります。講座の最新情報は東部・西部社会教育研修センターのホームページに掲載しますので、そちらでご確認ください。



社会教育の実践紹介

美郷町

「みさと ほっと あっと広場」～みんなでつくる人権のつどい～

美郷町人権・同和教育推進者連絡会議

12月の人権週間にあわせ、美郷町では人権のつどい「みさとほっとあっと広場」を開催しています。このつどいは「人権について子どもたちからの発信」を目的にしています。今年で6回目になります。今年のつどいは、小中学生の人権学習の取組の紹介や、保育園児の人権絵画の展示、さらには、邑智中吹奏楽部の演奏や、落語家「桂こけ枝さん」の人権講演会、大和小演劇クラブが作成した人権に関する映画の上映など、盛りだくさんの内容でした。



たくさんの方に
来場していただきました



フィナーレは子どもたちからの
人権メッセージです



桂こけ枝さんによる
人権講演会



ビエロのアクキーによる
バルーンアート

このつどいの企画運営は、人権・同和教育推進者会議がおこなっています。保育園、学校、公民館、隣保館、教育委員会等の関係者からなる30名程度がスタッフとして活動します。手作り感満載ですが、来場者の笑顔を見るとやりとげた充実感でいっぱいです。当日は雪が降りしきる中でしたが大勢の方が来場されました。住民の人権意識の高まりに少しでも貢献できたのではないかと考えています。

知夫村

「世代間交流で地域づくり」

知夫村教育委員会 生涯学習係主事 浜本 洋平

知夫村公民館では世代間交流事業として、昔の遊び交流会、もちつき大会、かるた大会などを行っています。その一つである「三世代交流もちつき大会」を紹介します。この大会は、もちつきを通して世代間の交流を深めてもらうことを目的に、毎年、子どもとその家族を対象に行っているものです。はじめに、お父さんやおじいちゃんが受け継いできた技を披露し、つき方を教えます。それを見習い、子どもたちが餅をつきます。お母さんは、子ども達に「がんばれ」と励ましの声を掛けながら餅を返します。おばあちゃん



家族で
餅をつく様子



餅を
丸める様子

は、つきあがった餅の丸め方をやさしく丁寧に教えます。最後には、みんなで力を合わせてついた餅を、雑煮やぜんざい、きな粉餅にしておいしくいただきました。「家族全員で楽しみながら参加できて、つきたてのお餅も食べられてとてもよかった。」などの声が聞かれました。人口減少により参加者も減っていますが、小学生のほとんどの家族が毎年参加され、楽しみにされている行事です。今後、もっと多くの村民のみなさんが参加できるよう工夫し、世代間交流を継続、充実させていきたいと思っています。



県内派遣社会教育主事 奮闘中!

事業継続のポイントは、 毎回ちょっとした変化と関係する みんなにメリットがあること

益田市教育委員会 派遣社会教育主事 内村 文雄



「来年も必ず来ます。」と言って笑顔で別れた1年前の子どもたちが、再び萩・石見空港に到着しました。思わずハイタッチする私。子どもたちは、少し恥ずかしそうにしながらも、その顔にはしっかり成長した自信が表れていました。17名中4人がリピーターです。

川崎市の子どもが自然体験をする「川崎ふれあいサマーキャンプin益田」に取り組んで今年で6回目を迎えます。小学5年～中学2年までの約20名が益田の地を訪れ、公民館等社会教育施設に宿泊します。川・山・海の中に身を置き、都会では味わうことのできない「無垢の自然が素晴らしい!」経験をしています。

昨年までは、それぞれの地区に川崎の子どもが訪問した時だけ、その小中学生が交流していましたが、今年はすべての行程を一緒に過ごすことを提案しました。益田市に住む子どもたちはあたりまえにある自然の良さに案外気付いていないのではないか、益田の



山遊び



海遊び



高津川遊び

子ども同士もこの機会につながりを持ってほしいという想いからでした。最終的には4人の子どもが寝食を共にして友情を深め、他地区の良さを知ったり、川崎の子どもが「食べ物おいしい」「水がきれい」「昆虫がたくさんいる」など意識しないことに改めて気づかされたりして有意義なキャンプになりました。

これからもこの事業のように、子どもたちの五感を育てるため公民館やボランティアハウス(放課後子ども教室)の皆さんと共に自然体験や文化活動等の場をつくり、子どもたちが本物にふれる活動を進めていきたいです。自然相手の活動には危険も伴いますから、地域の大人も時には真剣に叱ります。私も『厳しさの中に真の優しさがある。』をモットーにこれからも頑張ります。



社会教育関連事業のお知らせ

平成25年度社会教育関係の研究大会等

- | | |
|--|---|
| ● 中国・四国地区公民館研究集会
期日 ■ 平成25年 9月5日(木)～6日(金)
会場 ■ 香川県高松市 | ● 中国・四国地区社会教育研究大会・広島大会
期日 ■ 平成25年 11月21日(木)～22日(金)
会場 ■ 広島県尾道市 |
| ● 全国公民館研究集会
期日 ■ 平成25年 10月17日(木)～18日(金)
会場 ■ 北海道富良野市 | ● 全国社会教育研究大会・三重大会
期日 ■ 平成25年 10月23日(水)～25日(金)
会場 ■ 三重県伊勢市・志摩市 |



青少年教育施設の事業

県立の青少年教育施設では健全な心身の育成を図る体験活動事業を実施しています。幼児から大人まで様々な年代を対象にした事業を実施しており、「学び」のある体験活動実施のためのノウハウも蓄積しています。下記主催事業への参加はもちろん、地域で体験活動を計画される際にご活用ください。

県立少年自然の家

恵まれた自然環境の中で、学校や家庭では得がたい体験活動を通じた“学び”を提供しています。少年の自然体験活動はもちろん、幼児から高齢者にいたるいろいろな年齢層の方々に気軽に利用していただける学習施設となっています。また、各種団体研修や職場研修でのご利用も大歓迎です。

主な事業内容

- ①「子ども探検隊」「ジュニアサマー&ウィンターキャンプ」(小学生対象)、「チャレンジ・ザ・サマー」「森と海のつどい」(親子・家族対象)、「野外活動講座」(親子対象)などの主催事業を実施。
- ②浅利富士登山や、全長2kmを超えるアスレチックコース「冒険の森」、広大な敷地を活用したオリエンテーリング、火起こし体験などのプログラムを提供。
- ③小学校の宿泊体験活動の支援(県内の40%近くの小学校が利用)。



問合せ

〒695-0007 島根県江津市松川町太田610

TEL 0855-52-0716

URL www.pref.shimane.lg.jp/shonenshizen/

県立青少年の家 サン・レイク

広く県民の皆様に、施設や連携施設の資源を生かした体験活動を提供するとともに、幼児から成人対象のプログラム開発にも力を入れています。冬期には「家族で体験サン・レイク」(家族対象)、「粋で☆美味な☆おとめサークル(^ ^)」(成人女性対象)などの気軽に参加できる事業なども実施しています。

主な事業内容

- ①「にんにんチャレンジ」「キッズチャレンジ」「サマーチャレンジ」(年長児～中学生対象)、「にこにこファミリー」(親子・家族対象)、青年対象事業などの主催事業を実施。
- ②央道湖でのサバニ、カッターなどの湖面活動や海の磯観察、森の中でのスコアオリエンテーリング、屋内ではチャレンジ・ザ・ゲームなどのレクリエーション活動や各種創作活動を提供。
- ③希望する小学校と連携して「長期宿泊体験活動モデル事業」を実施。



問合せ

〒691-0074 島根県出雲市小境町1991-2

TEL 0853-69-1316

URL www.pref.shimane.lg.jp/seishonennoie/

編集スタッフから

先日、当センター主催講座の際に、受講者の方から息子さんが書かれた弁論文のコピーをいただきました。弁論のタイトルは「故郷を思って」。ご存知の方も多いかと思いますが、第31回少年の主張全国大会で審査員委員長賞を受賞した作品です。

作品中には、過疎の地域が失われてしまうことへの恐れや憤りから、ひたむきに生きる地域の方々とふれあいを通して「互いに助け合い、支え合うことの暖かさ」を感じ、「ふるさとを限界集落などにはさせません」と決意するまでの心の動きが描かれています。

「ふるさと教育」を通じて彼のような人材を育てることが、「未来」への約束として「今」の私たちに課せられた責務のひとつであるとあらためて感じました。

東部社会教育研修センター

〒691-0074 出雲市小境町1991-2 サン・レイク2F
Tel.(0853)67-9060 Fax.(0853)69-1380

URL: http://www.pref.shimane.lg.jp/tobu_shakaikyoiku/
E-mail: tobu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp

西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1 いわみ～る3F
Tel.(0855)24-9344 Fax.(0855)24-9345

URL: http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/
E-mail: seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp